

弘前大学男女共同参画推進室 Newsletter



弘前大学は2019年5月に「弘前市女性活躍推進企業」に認定されました。

男女共同参画推進室10周年記念シンポジウムを開催しました

昨年12月19日、創立50周年記念会館みちのくホールにおいて、弘前大学男女共同参画推進室10周年と弘前市男女共同参画推進20周年を記念したシンポジウム「男女共同参画推進、そしてその先」（共催：弘前市、北東北ダイバーシティ研究環境実現推進会議、あおもりダイバーシティ研究環境推進ネットワーク）を開催しました。

シンポジウムの前半は、渥美由喜先生（内閣府地域働き方改革支援チーム委員（東レ経営研究所兼務））による特別講演が行われ、渥美先生からは、ダイバーシティとは「適材適所」の考え方であり、その推進においては職業人としてだけでなく、家庭人や地域人としての「多面性」がリスクマネジメントにつながることや、ダイバーシティが進んでいる大学ほど学術論文の成果が大きいこと、多様性や多面性に耳を傾けることのできるリーダーの存在がイノベーションの高い組織には不可欠であることなどをお話いただきました。

後半は、藤崎浩幸男女共同参画推進室長のコーディネートにより、佐藤敬学長と櫻田宏弘前市長の対談が行われました。対談では、特別講演の感想やこの10年・20年を振り返っての所感が述べられたほか、櫻田市長からはリケジョ育成や性的マイノリティの人たちへの配慮などの市の最近の取組が紹介されました。佐藤学長からは「教職員については取組が行われてきたが、キャリア教育において学生がワーク・ライフ・バランスやダイバーシティの視点を持てるように、学生教育の面でも男女共同参画に取り

組んでいく必要があるとあらためて認識した。多様性・多面性を追求し、いろいろな人が働きがいや学びがいのある弘前大学にしていきたい」との発言がありました。

本シンポジウムは弘前大学男女共同参画トップセミナーを兼ねて開催され、本学役職員のほか、弘前市の幹部職員、地域の方々、学生など147人の方にご参加いただきました。



渥美由喜先生

対談の様子

参加者の声

- 職場のマネジメントのあり方について、大変参考になった。
- 大学と地域のリーダーが、建て前ではなく本気で男女共同参画を進めたいと考えていることが良く分かった。
- 視野を広げるという意味で、渥美先生の話聞いて良かった。学長も市長も男女共同参画推進に積極的というのは知らなかった。これからは注目したい。

女性研究者懇談会を開催しました

2月26日、保健学研究科大会議室において、女性研究者懇談会を開催しました。この会は、学長や担当理事、男女共同参画推進室長が、女性研究者の声を直接聴き、今後の事業にいかしていくことを目的としたものです。女性研究者11名と佐藤敬学長、石川隆洋理事、藤崎浩幸男女共同参画推進室長等が参加し、介護・育児と業務の両立や女性の上位職登用などについて率直な意見交換が行われました。



懇談会の様子

参加者の声

- 要介護認定を拒んでいる親戚の家事援助をしている。子育てにとどまらず、そのような状況も含めて介護の支援があると助かる。
- 支援制度は整備されつつあるが、若手教員が実際に制度を使いやすい環境づくりをしていきたい。
- 女性だからといって「女性として」の発言を求められることがもっとも困る。

ぜひご活用ください

令和2年度も次のようなワーク・ライフ・バランス支援や男女共同参画推進の各種取組を進めてまいります。制度概要や申請書類（様式）、手続き等の詳細は男女共同参画推進室ウェブサイトや一斉送信メール等でご確認ください。ご不明な点等はお気軽に男女共同参画推進室にお問合せください。対象となる方は積極的に制度をご活用ください。

託児利用料補助

- ◆ 目的：弘前大学職員のワーク・ライフ・バランス支援
- ◆ 内容：勤務日の病児病後児保育利用、休日勤務を命ぜられたときの託児利用、通常の勤務時間を超える出張または宿泊を伴う出張を命ぜられたときの託児利用、学会参加のための託児利用にかかる費用を補助します。
- ◆ 対象：弘前大学の教職員（託児を利用する子は同居する小学校6年生以下の子）

女性研究者を研究代表者とする共同研究支援

- ◆ 目的：女性研究者の研究力・リーダー力・マネジメント力向上支援
- ◆ 内容：弘前大学の女性研究者が研究代表者となり、文部科学省科学技術人材育成費補助事業（牽引型）の共同実施機関・参加機関の研究者が共同研究者として参加する共同研究を、40万円/件を上限として支援します。
- ◆ 対象：弘前大学の女性研究者（准教授以下）

リクルート経費支援（新規）

- ◆ 目的：女性教員の応募促進
- ◆ 内容：教員公募における女性候補者からの応募を促すための学会誌等への広告掲載や周知に向く際の旅費等を支援します。
- ◆ 対象：教員公募における女性の応募を増やそうとする部局

▶ hirosaki smart projectに参加しました

弘前大学は、平成28年度から、弘前市女性活躍推進異業種交流会「hirosaki smart project」に参加しています。hirosaki smart projectは、弘前市の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づき、弘前市と損保ジャパン日本興亜株式会社を中心となり市内の女性活躍推進を図ることを目的とするものです。本年度は、弘前大学を含む市内の企業・団体等が参画、4回の交流会が開催され、総務部人事課と人文社会科学部総務グループの事務系女性職員2人が派遣されました。

交流会は令和2年度も開催される予定です。

参加者の声

- 仕事に子育てでにと充実した日々を送られている参加者の皆様と意見交換ができ、刺激を受けるとともに、大学の外にもロールモデルとなる方がたくさんいらっしゃることを知る貴重な機会となりました。
- 毎回異なる講師の方がそれぞれ別のテーマでご講演くださり、自身の見識を広げることに役立ちました。

▶ 次世代育成サポーター養成講座受講完了証を授与しました

昨年12月3日、男女共同参画推進室において、藤崎室長から教育学部の学生2人に次世代育成サポーター養成講座受講完了証が授与されました。次世代育成サポーター養成講座は、ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（牽引型）代表機関の岩手大学が開講したもので、弘前大学は、学生への男女共同参画・キャリア形成支援教育・学修機会の充実を図ることを目的として受講を支援したものです。

当該学生は、DVDと岩手大学での講座を通じて乳幼児の発達・心理・食育・地域の子育て支援等の子どもと楽しくかかわるために必要な知識やスキルを学び、レポートを提出して受講を完了しました。男女共同参画推進室では、引き続き男女共同参画・キャリア形成支援教育・学修機会の提供を図ってまいります。



藤崎室長（写真左）と受講完了証を受け取る学生

▶ キャリアデザインワークショップを開催しました

昨年12月13日、キャリアセンターセミナー室において「キャリアデザインワークショップ」を開催しました。本ワークショップは、弘前大学の学生を対象に、就職活動や就職後のキャリアデザインに関する期待や不安などについて、男女共同参画やダイバーシティの視点を踏まえて気軽に話し合うことのできる場を提供することを目的として実施したものです。

当日は、ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（牽引型）事業連携機関のひとつである株式会社ミクニの秦彩花さんと佐々木寛規さんをゲストにお迎えし、小グループに分かれての情報・意見交換が行われました。

参加者の声

- 授業での話をもとにより詳しく話を聞くことができて良かった。
- 就職や進学について心配なことが多かったが、話を聞いてもらってとても楽になった。インターンシップに参加してみたい。



ワークショップの様子

▶ “リケジョ”を支援しています

前期に引き続き、次のとおり“リケジョ”育成の事業に協力しました。

女子高生工学系キャリアサポート

- 日 時：12月21日13:00～17:00、22日9:00～13:00
- 会 場：理工学部1号館
- 参加者：青森県内女子高校生26名

- 主 催：理工学部 鳥飼宏之准教授
- 助 成：東北工学教育協会
- 協 賛：弘前大学男女共同参画推進室

弘前大学総合文化祭での女性研究者パネル展

- 日 時：10月26日10:00～17:00、27日10:00～16:00
- 会 場：弘前大学創立50周年記念会館ロビー
- 来場者：90名

- 主 催：弘前大学
男女共同
参画推進室

アピオあおもり秋まつりでの女性研究者パネル展

- 日 時：11月9日9:30～15:30
- 会 場：青森県男女共同参画センター（アピオあおもり）
- 来場者：86名

- 主 催：青森県男女
共同参画
センター



工学系キャリアサポートの様子

お詫び

さんかくつうしん21号（2019年9月発行）で「さんかくカフェ」（第3・4回）の今後の開催予定をご案内しましたが、諸般の事情から年度内の開催を見送ることとなりました。お詫び申し上げます。